



Changemaker journal

2026

3

VOL.8

本校は、「時代の変化・地域の課題に対応した新たなタイプの学校」として、2023年4月にリニューアルしました。この通信では、犬総の特色ある科目である、1年生「産業社会と人間」2年生「地域探究Ⅰ」3年生「地域探究Ⅱ」を中心に、校内外でのさまざまな学びの様子をお届けします。

高校魅力効果評価システムについて

本校では、生徒一人ひとりの「成長」を見える化するために、高校魅力効果評価システムを活用しています。このシステムでは、年に1~2回、アンケート形式で振り返りを行い、日々の学習や学校生活を通しての学びや意識の変化を確認しています。この評価は、三菱みらい育成財団の支援を受け、三菱UFJリサーチ & コンサルティングが開発・実施しているものです。数字や結果を通して、これまでの自分の歩みを振り返ることができます。

産業社会と人間～1年～

1年生は、学年全員が「産業社会と人間」を履修し、高校生活のスタートとして、自分自身や社会との関わりについて考えてきました。

R7年9月とR8年2月に実施した高校魅力効果評価システムの結果を比較したところ、多くの項目で意識の向上が見られました。その中でも、特に1年間で伸びが大きかった項目の上位5つを紹介します。

①地域の課題の解決方法について考える	42.9%→68.0%	↑25.1%
②地域の魅力や資源について考える	47.4%→69.9%	↑22.5%
③活動、学習内容について大人(教員や地域の大人)と話し合う	48.9%→65.0%	↑16.1%
④活動、学習のまとめを発表する	60.2%→75.7%	↑15.5%
⑤自分の暮らす地域を、外からの視点で考える機会がある	49.6%→64.0%	↑14.5%



関西大学 社会学部 メディア専攻 斎藤純一教授

最終講話として、挫折を乗り越えながら将来の夢を見つけていくことについて実体験をもとにお話いただきました。

この一年で、みなさんは地域のことを自分の問題として考え、行動しようとする力を大きく伸ばしてきました。また、授業や活動の中で、先生や地域の大人と話し合いながら学ぼうとする姿勢もしっかり育っています。成長の実感は、人それぞれ違うかもしれませんが、日々の小さな経験の積み重ねが、これからの探究や将来の進路を支える確かな力になります。2年生も、自分の考えを大切にしながら進んでいきましょう。

地域探究Ⅰ～2年～

2年生は、学年全員が「地域探究Ⅰ」を履修し、8つのプロジェクトに分かれて活動を行いました。それぞれのテーマに沿って、地域や社会の課題に向き合い、仲間と協力しながら探究を進めてきました。R6年9月、R7年2月、R8年2月に実施した高校魅力効果評価システムの結果を比較し、その中でも、1年学年末から2年学年末までの1年間で特に伸びが大きかった項目の上位5つを紹介します。

いぬやま地域つながるフェスに参加しました♪

①活動、学習内容について大人(教員や地域の大人)と話し合う	52.3%→69.2%	↑16.9%
②地域の魅力や資源について考える	53.1%→76.1%	↑23.0%
③地域の課題の解決方法について考える	64.1%→81.2%	↑17.1%
④日本や世界の課題解決方について考える	46.1%→63.2%	↑17.1%
⑤活動、学習のまとめを発表する	66.4%→78.6%	↑12.2%



スライムづくり



デジタルデトックス レジンキーホルダーづくり



カプセル工芸品



鶺鴒飼いの紹介

1年生9月→1年学年末と、1年学年末→2年学年末までの結果の順位は変わらず推移しており、1年生で身につけた学びを土台に、加えて2年生では、地域から日本や世界へと視点を広げ、より深く考えながら探究を進める力が着実に伸びてきました。これまでの努力に自信を持ち、次の探究やその先の進路へと、仲間とともに一歩ずつ進んでいきましょう。みなさんの高校生活ラストの1年の挑戦と成長をこれからも応援しています。

地域探究Ⅱ ～3年～

3年生は、これまでの探究活動の積み重ねをもとに、進路や将来を見据えながら学びを深めてきました。高校魅力効果評価システムは、R7年2月は学年全員、R8年2月は「地域探究Ⅱ」履修者のみを対象に実施しました。2年学年末から3年学年末の1年間の結果を比較することで、探究活動を継続して取り組んだ生徒が、どのような力を伸ばしてきたのかを確認しています。中でも、特に伸びが大きかった項目の上位5つを、ここで紹介します。

①自分の将来に向けて大切だと思うことを実行している	88.6%→100%	↑28.5%
②活動、学習内容について大人（教員や地域の大人）と話し合う	60.2%→88.0%	↑27.8%
③自分の将来について明るい希望を持っている	69.1%→96.0%	↑26.9%
④地域に尊敬している・憧れている大人がいる	55.3%→80.0%	↑24.7%
⑤うまくいか分からないことにも意欲的に取り組む	72.4%→96.0%	↑23.6%



地域探究Ⅱの終了式

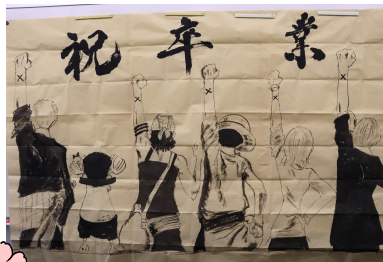
評価結果から、第一期生の卒業生が在学中の3年間を通して、自らの将来を見据えて行動する力や、不確実な状況にも前向きに挑戦し続ける姿勢を大きく伸ばしてきたことがうかがえます。また、教員や地域の大人との対話を重ねる中で、社会の中に目標となる存在を見つけ、将来への希望をより具体的なものとしてきました。こうした経験の一つひとつは、卒業後のさまざまな場面で、判断や行動を支える力となっていきます。

本校で培った学びと出会いが、それぞれの進路において生かされていくことを期待しています。

卒業おめでとうございます



卒業生代表答辞



長谷川先生のお祝いの墨画作品



在校生代表送辞



PIKUTON

PIKUTONのメンバーは

『世界青年の船』に参加する世界各国の方々の前で、防災普及活動について発表しました。

地域で培ってきた実践や工夫を国際的な場で共有することで、防災の大切さを世界の仲間とともに考える貴重な機会となりました。



表彰

地探ⅠのCMプロジェクトと3年生の映像メディアのチームが『第8回全国動画クリエイティブ甲子園』に作品を応募し、いくつかのチームが表彰をされました！

入賞…テール

佳作…祀チャリで来た祀、チーム金金、NO NAME、チームクラブ



新しい1年の始まり、新しい探究の始まりです！みなさん、探究してますかー！！犬山総合高校は探究の学校です。課題を見つけ、その解決に向けて取り組む中で様々な力を身につけていくことになります。探究活動で得た力は、曖昧で不確実な現代社会を力強く生き抜く力になります。高校3年間だけでなく、一生をかけて解決したいと思える自分の「ミッション」を見つけられたら最高ですね！

ジョン・クランボルツというキャリアの理論家は、「偶然」をキャリアの好機に繋げていく要素として『好奇心・持続性・楽観性・柔軟性・冒険心』を挙げました。みなさんの人生は偶然に満ちています。目の前に転がった好機を見逃さないためにも、意識してみてください！みなさんのキャリアが探究によって開かれていきますように！



進路指導主事 田中琢斗先生